

愛称通りを歩く ⑫

亀戸5丁目中央通り



亀戸5丁目中央通りはJR亀戸駅近く、明治通りから東南に延びる商店街通りで、戦前にはこの通りに映画館があったことから映画館通りともいわれていたそうです。♪屋根より高いこいのぼり……どこからともなく聞こえてくる懐かしい童謡。ふと、見上げると、商店街に設置された有線放送でした。道行く人たちもくちずさんでいます。

懐かしいのはこれだけではありません。畳屋、修理屋、経師屋、提灯屋など職人さんの店が今でも健在なうえに、湯屋まで通りにあるのです。その中でも感激ものは畳屋さんの店先に、リヤカーに積んだ畳があったのです。「あっ、近頃はこれにかぎるんだよ」と一針

一針の手仕事を続ける畳職人の大泉さん。

古老のはなしによると亀戸村は純粋な農村ではなく、亀戸天神社を核に行楽地としても栄えていたため、職人さんが多く住んでいた町だったようです。

商店街で酒屋を営む篠崎慶二さん(亀戸5丁目中央通り商店街振興組合代表)は下町の気の好いおじさんタイプです。「毎年、5月5日には水神小学校の児童全員の『手づくりこいのぼり』約150匹が商店街通りを飾るんですよ。交通安全週間には鼓笛隊のパレードもあるし、大塚校長は地域と学校の連携を大切にしてくれます」。このほか毎月1日・2日は破備市(バカ市)セール、秋はゲームを楽しみながら旬のサンマをプレゼントするサンマ大会が大好評! 何と言っても郷愁をそそる極めつけは亀戸1曳舟を結ぶ東武亀戸線の踏み切りです。「カンカンカン……」と鳴り響く音とともに遮断機が下りて、2両つなぎのかわいい電車が走りすぎました。亀戸5丁目中央通りはこの踏み切りを渡った先で終ります。



亀戸天神社にお参りの帰りには、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょう。幼き日々がよみがえってくる通りです。